

JSCA 九州支部 平成 28 年度 第1回役員会議・議事録(2016-0729)

日 時	2016 年 7 月 29 日(金)役員会 14:30~17:00	
場 所	グランデはがくれ1F ハーモニーホール 住所:佐賀市天神 2-1-36 問い合わせ先 TEL 0952-25-2212	
出席者	宮田支部長、大塚、原 松下、吉原、今林、内山 尾宮、川崎、浅田、重松 牛尾、豆田、岡崎、満石、川島、阿部、森本、上永瀬、花城 江口、陣川(代理)、河野、岡崎、白坂 石井 石松、前田、恵藤	両副支部長 3名 各幹事 4名 各委員長・部会長 4名 地区幹事・副幹事 9名 各地区事務局 5名 編集 HP 委員会 1名 九州支部事務局 3名 計 31名 その他、佐賀地区会のメンバーが参加
予定議題	1. 支部長挨拶 2. 各懸案事項報告と審議 3. 各委員会・部会報告及び事業計画 4. 地区会報告と事業計画 5.その他	

(議事予定)

1. 支部長挨拶 -----宮田支部長

・「皆様お疲れ様です。

熊本地震の協力について、改めてお礼申し上げます。

応急危険度の判定については、51名で延べ人数は62名の方に協力を頂きました。

建築学会の悉皆調査には、15名の方に協力を頂きました。有難うございました。

義援金につきましては、熊本地区会の正会員の方に被災度合いに関わらず、均等に配分されています。

義援金は、本部、九州支部、東北支部、大分地区会、鹿児島地区会から寄せられています。成り代わりまして

お礼申し上げます。今後は、後程、満石熊本地区会長から説明が有ると思いますが、被災度判定（木造等の耐震診断）に移っていくと思われまます。これからも協力の程、宜しく願います。

それでは、議事の方を、宜しく願います。

2. 各懸案事項報告と審議

・熊本地震の見舞金の報告

・スキルアップセミナーの開催について

本部へ8月3日までに開催の有無を回答しないとイケない・・・九州支部は開催する。

JSCA構造士試験は九州では開催しない。

・JSCA構造設計賠償責任保険説明会の開催について・・・現在の希望者は3名です。

福岡で開催となる場合、地区役員で参加の意思のある方の確認をしましたが

地区役員に参加希望の方はおられませんでした。

- ・各委員会による講習会が予定されています。各部会にて報告していただきます。
 - ・以前、窓口を開設しましたレビューの問い合わせが最近きています。
 - ・福岡県住宅センター主催の講習会を開催予定です。設計規準部会で2回ほど開催します。
 - ・被災を受けた建物の検証を行った場合、第三者としてJSCAでお墨付きがでないかの問い合わせあり……JSCAでは検証できない旨回答してます。
- ERIでは、東北震災のおりに、第三者としての検証をされたようです。
- ・「福岡建築倶楽部 新年の集い」で、JSCAが司会進行担当になります。
- 11月以降に打ち合わせが入る予定です。
- ・地区会の分担金をご連絡し、地区会での講師謝礼のひな形を案内します。

3. 各委員会・部会報告及び事業計画

技術委員会

代読(石松)

全日本鉄構工業協会 九州支部からの講師依頼

- ・ 6月28日、29日・・・建築鉄骨製品検査技術者資格 学科講習会（福岡：参加92名）

今後の予定として

全日本鉄構工業協会 九州支部からの講師依頼

- ・ 9月28日、29日・・・建築鉄骨製品検査技術者資格 講習会（福岡）

全日本鉄構工業協会 本部からの講師依頼

- ・ 11月15～17日・・・建築鉄骨製品検査技術者資格 実技講習会（福岡）

H28年2月（日程は未定）建築鉄骨製品検査技術者資格 継続講習会（福岡）

地盤系部会

代読(浅田)

- ・ 7月 5日・・・部会内勉強会
 - ・ 「H28年熊本地震における基礎被害の速報」実際の被害状況写真をPPで示し、情報交換や、熊本の地盤についての特徴を確認し合った。
 - ・ 基礎、地盤だけでなく、全般的な「H28年熊本地震」での建物被害状況の情報交換も行った。
 - ・ 「今後の講習会の予定連絡と内容説明」（詳細は下記「今後の予定」に示す）
 - ・ 急な開催だったのでそのあとの暑気払いは少人数で実施。
- ・ 今後の予定として、
 - 既製コンクリート杭技術講習会
 - ・ 2016年9月29日（木曜）開催予定
 - ・ 主催COPITA（コンクリートパイル建設技術協会）、共催JSCA、CPIT（コンクリートポール・パイル協会）・・・JSCA本部で共催
 - 建築基礎設計実技講習会
 - ・ 2016年11月頃に開催予定
 - ・ 30名（1日開催）～60名（2日開催）で計画
 - ・ 設計演習方式

- ・福岡県住宅センターが主催の講習会の予算を今年度2件分確保されています。
地盤系部会で予定されています講習会は単独で行っていただき、
設計者に有意義な講習会を2回開催する事を目標とします。

- ・5月23日・・・特殊(PC)系部会と共催で「西日本シティ銀行ココロ館」場見学会開催
体育館棟大スパン格子PC大梁の配線配筋・柱梁接合部の状況
- ・今後の予定・・・西日本圧接業協同組合との共催で平成28年11月に講習会開催予定。
内容は未定。

- ・鉄骨梁の横座屈に関する実験を実施予定。
実験内容：塑性化領域(端部)を鋼板による補強を施したH型鋼の加力試験
実験場所：福岡大学第一構造実験室(木村研究室)
実験予定：予備実験1回、公開実験2回予定
ただし、日時は未定

- ・実施
- ・今後の予定
 - ・8月6日・・・実験見学会「梁端ハンチ実験」、@九産大 13:00～
前回スカラップありだったが、今回はノンスカラップ、
ノンブラケット・現場溶接などで行う。
 - ・10月頃・・・勉強会「(仮題)最新の鉄骨技術」H28年10月28日予定
 - ・12月頃・・・鉄骨現場見学会、
 - ・8月23日(火)建築学会で「オリンピックと建築」のセミナーがアクロス福岡で
開催されます。詳細は学会HPで確認してください。
 - ・建築学会の大会が8月23日～26日に福岡大学で開催されます。

1. 活動報告

<現場見学会>

- ・「西日本シティ銀行ココロ館新築工事」の開催

日 時 2016年 5月 23日 (月) 13:30~15:30

場 所 西日本シティ銀行ココロ館新築工事現場

参加者 17名

概 要 体育館棟大スパン格子PC大梁の配線・配筋、柱梁接合部の状況の見学

2. 今後の活動予定

<現場見学会>

- ・「学校法人 福岡学園 福岡看護大学 (仮称) 新築工事」

日 時 2016年 8月 19日 (金) 13:30~15:30

場 所 学校法人福岡学園福岡看護大学 (仮称) 新築工事現場

福岡市早良区田村2丁目 1148-1

参加者 20名 (先着順)

木質系部会

川崎部会長

- ・ 3月 19日・・・木造軸組工法住宅の4号建築物仕様規定⑦ 勉強会(質疑回答)を開催。出席者は17名。
- ・ 5月 14日・・・木造耐震診断「一般診断法」勉強会を開催。出席者は13名。
- ・ 6月 4日・・・木造耐震診断「精密診断法1」勉強会を開催。出席者は19名。
- ・ 6月 11日・・・木造耐震診断「一般診断法・精密診断法1のまとめ」勉強会を開催。出席者は16名。
- ・ 7月 2日・・・九州大学大学院 藤本 登留 准教授による「木材の材料特性について」講演会を開催。出席者は39名。講演会後、懇親会を実施。

今後の予定として、熊本県立大学 北原 昭男 教授による「(仮題)平成28年 熊本地震による建物被害について」講演会及び懇親会を9月17日に予定している。

- ・ 木質部会系で木造の耐震診断の講習を受けた方の名簿を熊本地区会に支部事務局から送ります。

青年部会

重松部会長

- ・ 4月28日・・・第1回 定例会 参加人数:10名
 - ・ デザイン発表会予行練習を行う予定が、熊本地震の影響で会場が使えず中止。
 - ・ 総会受付(2名)は羽田さん、安達さん、総会書記(1名)は吉川さんを選出。
 - ・ “頭付スタッドに代わるずれ止め勉強会”を行う。(講師:福岡大学の田中先生)。
 - ・ “免震勉強会”を企画実施予定。
 - ・ “九州若手構造設計者の集い”を企画実施予定。
 - ・ 見学会は、次回候補として下関に。
- ・ 5月20日・・・JSCA九州構造デザイン発表会2016
 - ・ 青年部から宮本 裕也さん(梓設計)、上野 雄太さん(鹿島建設)、福田 光俊さん(久米設計)が発表者として参加。

- ・ 7月15日・・・第2回 定例部会 参加人数：18名 (+なでしこ会：6名 +福大生：2名)
 - ・ なでしこ会と合同で勉強会と暑気払いを行った。
 - ～鋼とコンクリートの接合に用いるずれ止め(シアコネクタ)の種類と設計法の勉強会～
 - ・ 青年部メンバーでもある福岡大学の田中照久先生を講師に迎え実施した
 - ・ 鋼とコンクリートの接合に用いる「頭付きスタッド」の現状と課題について
 - ・ 土木構造物への適用事例が増加傾向にあり、また、現在日本建築学会においても設計指針を検討している「孔あき鋼板ジベル」について
 - ・ 新しく開発した「バーリングシアコネクタ」の概要、これまでの研究成果ならびに実用化事例について

今後の予定

- ・ 夏～秋頃・・・・・・・・青年部通信を発行。次回のJSCA九州メール版に掲載頂く予定。
- ・ 10月頃・・・・・・・・第3回 定例部会(免震勉強会を開催予定)。
九州若手構造設計者の集い企画予定。
- ・ 11～12月頃・・・第4回 定例部会(予定)
秋の本部デザイン発表会で、青年部から、福田 光俊さん(久米設計)、上野 雄太さん(鹿島建設)、高山一斗さん(竹中工務店)、の3名が発表します。

中国支部との支部間交流に参加

- ・ 6月25日・・・中国支部の構造デザイン交流会に参加してきました。(重松)
2012年にはじまり、今回は5回目とのこと。
参加者は50名強。(3～4割は学生)
発表者数は5者で、新築3例、診断2例でした。
趣旨として、取り組んだ構造設計や耐震診断(改修)について、どう取組んだか、どう思ったかなどを発表し、質疑応答するという、まさに設計者同士の交流の場でした。
質疑応答まであわせて1人あたりの時間を30分とっており、質疑応答が密に行われた印象。
(九州支部は1人あたりの時間は半分程度ですが、テンポ良く進むのでそれはそれでよいと思います。)
また、学生が多数参加しており、学生からの質疑に対してわかりやすく説明するシーンなどもみられました。(今後の九州支部にも学生に多く参加してもらうよう働きかけたい。)
四国支部から、(九州支部総会にも来て頂いた)竹内支部長と戸田さんも参加しており、関西、中国、九州と見て回った結果、「今後は四国でもなんとかやりたい」とおっしゃっていました。

なでしこ会

浅田部会長

7月現在で登録会員数が42名となりました。

昨年10月に大阪で桃李舎の柘田さんをお訪ねした際、3名の女性構造設計者と懇談しましたが、それを機に、関西になでしこ会が発足したという情報があります。竹中工務店の方が代表として率いておられると伺っています。

<4月以降の活動報告>

- 4/12 火 今年度第1回ミーティング(4名参加)
- 4/16 土 2015年日本構造デザイン賞受賞記念『柘田洋子さんをお祝いする会～記念講演と女性の構造エンジニアによる小さなシンポジウム』へ参加
※浅田はシンポジウムにおいて発表予定でしたが、震災対応のため断念。
- 5/20 金 支部総会における、受付・書記の協力
- 6/14 火 第2回ミーティング(3名参加)
- 7/15 金 青年部会の勉強会へ参加

<今後の予定>

8/27 土 暑気払

9月以降の活動計画

見学会（戸畑図書館／平成26年度 耐震改修優秀建築賞[建防協]）

関西のなでしこ会（最近発足）と合同サミット

名古屋大学訪問

編集ホームページ委員会

今林委員長

（石井、福田、中島、水野）

- ・ 6月30日・・・JSCA九州メール版33号（総会号）配信
- ・ 8月末日・・・JSCA九州メール版34号（佐賀役員会号）配信予定
- ・ 11月末日・・・JSCA九州メール版35号（構造デザイン発表会2016号）配信予定
- ・ 来年1月・・・JSCA九州メール版36号（2017新春号）配信予定

●各部会・委員会および地区会の活動紹介など、メール版およびホームページへの掲載情報を募集中です。上記メンバーの誰にでも結構ですので、遠慮なくお申し付け下さい。

耐震改修促進委員会

松下委員長

- ・ 4月13日・・・第1回運営委員会 11名
- ・ 6月29日・・・SRF工法勉強会 11名（キャナルシティ会議室）
- ・ 9月頃・・・公営住宅（RC9F）外フレーム工法の見学会を予定
- ・ 熊本震災後福岡で1件の相談がありました。
- ・ 九州支部事務局には、TEL相談が最近多くなっています。

4. 地区会報告と事業計画

沖 縄

花城幹事

- ・ 偶数月で定例会を開催。
- ・ 9月・・・熊本地震応急危険度判定活動の報告会予定
- ・ 10月・・・任意立体解析プログラム講習会の予定
- ・ 11月・・・桃李舎 榊田洋子氏講演会を誘致予定（11月2日か11月25日予定）
- ・ 12月・・・地区内デザイン発表会及び忘年会
- ・ 診断については、現在、那覇市民会館と病院関連の2件が進行中。
緊急避難路の指定はあるが沿道建築物の診断義務指定は有無を含め未定
- ・ 適判については、現在2機関で30～40件/月で推移。
9月より1機関が参入し3機関となる予定。

鹿児島

上永瀬幹事

- ・ 4月5日（火）平成28年度第1回地区役員会
- ・ 4月16日（土）平成28年度鹿児島地区総会
- ・ 5月10日（火）第2回地区役員会
- ・ 5月20日（金）九州支部総会出席（上永瀬新幹事 中村元幹事 白坂地区事務局）
- ・ 6月14日（火）第3回地区役員会

- ・ 6月24日(金) 第2回定例会 鉄構工業会青年部との合同勉強会
講師：崇城大学 東教授, 鹿児島大学 澤田准教授
演題：熊本地震の被害報告
- ・ 7月29日(金) 九州支部役員会(上永瀬新幹事 白坂地区事務局)
(以上, 7月29日(金)九州支部役員会までの活動および活動予定)

今後の予定

- ・ 9月 第4回地区役員会
- ・ 10月 すまいと建築展(JSCA ブース出展)
- ・ 11月 九州支部役員会
第5回地区役員会
- ・ 12月 第3回定例会/忘年会

宮 崎 ----- 森本幹事

- 4月 7日・・・第1回技術研修会 「杭打ち現場 見学会」
：青島地域複合型防災施設 (宮崎県建築士事務所協会との共催)
※ 荒天候のため中止
- 4月 7日・・・宮崎地区役員会 事業報告および次年度事業計画案の検討・会計監査
- 4月22日・・・宮崎地区総会 18名(内、委任状8名) : 宮崎市民プラザ
- 8月 6日・・・第2回技術研修会 :九州産業大学 (宮崎県鉄鋼工業会との共催)
「鉄骨梁端ハンチ形状の違いによる破壊性状の違い実験 見学会 2016」
(協力：九州産業大学 九谷研究室)
- 10月・・・第3回技術研修会 予定(内容は未定)
- 12月・・・第4回技術研修会 予定(内容は未定)
- 2月・・・第5回技術研修会 予定(内容は未定)
- ・診断については、判定会を年3回実施予定で、件数は20件程度
 - ・適判については、月平均5~8件程度

熊 本 ----- 満石幹事

・初めに、JSCA九州支部の皆様ならびに大分地区会の皆様、熊本地区会への義援金をいただき誠にありがとうございました。

・6月15日平成28年度のJSCA熊本地区会総会開催しました。地区幹事・副幹事および事務局は、今年度も昨年度と同じ顔ぶれです。

総会では、義援金をどうするかが大きな議題となりました。業務環境の整備等、熊本県の復旧復興のために役立てることを目的として、地区会会員に均等に配分することを幹事より提案し、決定しました。

JSCA地区会員を含め、熊本県の建築設計関係者は、地震被害調査に携わっている人が多いと思います。被害調査が半分程度済み、これから復旧設計に着手しようという段階で、かなり忙しい日々が続きます。

今年度の講習会や現場見学会などの活動計画は、現状難しいと考えています。

会員状況は1名入会、学会会員 3名 正会員 24名 計 27名です。

・耐震診断について

今年度の耐震評価の受付は、7月14日現在6件と減少していますが、官公庁物件にて地震被害を考慮した耐震診断が発注され評価取得が義務付けになれば、今後相当量の耐震評価となる可能性があります。

耐震評価の審査体制が、昨年6月に変わったことは報告しましたが、その審査体制の評判は芳しくありません。

・適判について

今年度の適判物件数は、4月 23件、5月 26件、6月 21件、7月14日現在 8件で、地震の影響が出てきたのではないかと心配しているようです。(平均 25件/月)

以上が熊本地区会報告です。

以下、木造住宅の耐震診断に関するご相談です。

ご相談の流れは、熊本県建築士事務所協会より日事連九州ブロック会(福岡県建築士事務所協会)になると思います。

耐震診断(一般診断)の申込は、熊本市のみで現在1600件となっており、熊本市は今年度450件(予算済み136件9月補正314件の見込み)の実施を計画しているようです。予算がついた10月頃具体的にお願ひすることになると考えられます。

診断の委託料は、一般診断で50,000円/件と変わりませんが、別途交通費はお支払するそうです。

なお、熊本市物件では、熊本県・熊本市・事務所協会が主催する木造耐震診断講習会の受講が必要であり、9月初旬福岡市内でその講習会を実施するそうです。

JSCA九州支部としては、熊本県建築士事務所協会から福岡県建築士事務所協会に依頼があった場合木造部会の参加可能メンバーの費用としては25万程度を見積もっており、低予算の為支部で活動はしなく、会員の方への案内にとどめる。

耐震診断は、あくまで被災を受けてないものを対象としており、被災度区分判定とは別のものです。

大 分 -----阿部幹事

・大分地区会総会・・・H28.5.28 8名参加

・今後の活動予定

9月・・・熊本・大分地震被害についての討論会

10月・・・ファブ経営者による鉄骨構造講習会

11月・・・近辺で施工中の工場現場ミニ見学会

・会員数 32名(増減なし)

・耐震診断 大分県建築士事務所協会 4月～7月 2件

・適判件数 大分構造技術センター 4月～7月 42件

大分県建築住宅センター 6月～7月 4件(受付開始は6月1日から)

・日本文理大の先生を筆頭に木造の耐震診断が開始予定。

・熊本地震での被災状況を大分県HPより抜粋したものを議事録の後に添付します。

- ・4月6日・・・通常総会、役員改選：ホテルモントレ長崎（長崎市）
- ・4月26日・・・第4回建築構造展の開催についての打ち合わせ：長崎歴史文化博物館講座室（長崎市）
九州支部役員様他のご意見を伺いましたが5月2日延期開催を決定しました。
- ・4月24日～27日・・・熊本地震で応急危険度判定士として長崎地区会から3名参加しました。
- ・5月7日・・・AIJ九州支部の益城町での悉皆調査に長崎地区会から1チーム3名参加しました。

-
- ・例会を開催しました。

第1回・・・6月24日(金)

本年度の行事予定計画および計画表の作成を行いました。長崎市中央公民館（長崎市）
懇親会

- ・構造仕様書(図面)の勉強会を開催しました。

第1回・・・5月24日(火) 長崎市中央公民館（長崎市）

第2回・・・6月7日(火) “

第3回・・・7月5日(火) “

第4回・・・7月26日(火)

勉強会は長崎地区会10名程度と鉄骨研究会で行ってます。

- ・長崎県警察本部庁舎の現場見学会、シンポジウム、懇親会に参加しました。

主催：長崎大学構造工学コース

6月21日(火)・・・長崎県警察本部庁舎の現場見学会（施工：鹿島建設JV）

・・・シンポジウム 長崎市民会館大会議室

パネラー 中原浩之教授・尾宮洋一様・大森睦様（応急危険度判定）・鉄川進様

- ・長崎建築設計5団体共催研修会に参加しました。（JIA長崎・設計事務所協会・設備協会・建築士会）

7月15日(金)・・・西部ガス 小江工場見学会・研修会

-
- ・今後の予定

第2回例会・・・8月26日 RC接合部定着ナットの講習(JFE条鋼株)、懇親会(佐世保例会)

第3回例会・・・10月13日,14日 扶桑機工(株)工場見学(大阪府堺市)、岡部(株)京都工場見学会、懇親会
(アンボンドブレース) (ベースパック)

- ・構造仕様書(図面)の勉強会

第5回例会・・・8月9日(火) 長崎市中央公民館（長崎市）

第6回例会・・・9月6日(火) “

第7回例会・・・9月27日(火) “

- ・長崎地区会構造展をH29年6月22日(木)23日(金)に開催します。

- ・耐震評価件数 4～5件 適判審査は2件あるが、どちらも0件

・今年度計画

- 5月27日・・・佐賀地区会総会、勉強会（ブロック状地盤改良工法）
- 9月6日・・・地震被災建物の修復勉強会「講師：住まい空間研究所 長谷川順一氏」
- 10月・・・鉄骨梁ハンチ補強勉強会「講師：鹿島建設 尾宮洋一氏」
- 12月・・・鉄骨ハイブリット建築物現場説明会「金箱構造設計事務所 金箱温春氏」
- 12月・・・地区例会（忘年会）

- ・診断については・・・14棟
- ・適判については・・・32棟（建設技術支援機構17棟、建築構造センター15棟）4/1～7/8
- ・佐賀県建築士事務所協会から熊本震災の応援にあたって、木造診断の可能な事務所のアンケートが実施されています。診断は一般診断となっています。

平成28年度の予定

- ・4月15日 北九州地区会総会
H27年度の会計報告
H27年度の活動報告、H28年度の活動計画について
- ・5月20日 九州支部総会
- ・7月29日 第1回役員会（佐賀）
- ・8月 地区例会 産学官の計画説明、懇親
- ・11月4日 北九州市の「産学官」が連携した第7回建築構造系講演会
場所：北九州国際会議場 時間：13:00から17:00 予定
内容：北九州市の耐震について
北九州市立大 城戸先生より、構造系の講演（内容未定）
北九州スタジアムの構造と建設について 梓設計、奥村組
熊本地震について 計画中
※ 終了後 懇親会を予定
- ・H29年1月12日（木）北九州建築6団体新年賀詞交歓会
その他、例会などを実施予定。
現在 20名

5. その他

- (1). H29年の総会は、H29年5月26日（金）に行います。
 - (2). 次回役員会の日程
 - ・ 予定日時 11月18日（金）
 - ・ 場 所 福岡市内
- ・福岡県には耐震アドバイザー制度があり、補強計画から施工まで（登録業者）で行っている。
 - ・福岡は木造診断は今まで3,000円/棟にて行っており、JSCAで試算している25万程度は現実には難しいと考えられ、会員さんに案内をし、熊本県で決められた設計料でされる方は個人で申し込みになるかと思われる。
 - 同様に、今後は、被災度区分判定についても、費用をどれくらい見込むかは今後の動向をみる必要がある。
 - ・JSCA九州会員名簿は必要と思われ、25周年記念に作成した写真入りの更新の作成、名簿だけの作成を再度詳細検討のうえ、作成する方向で進める。（鹿児島 木場氏に確認）
 - ・九州支部地区会を含む役員の手帳番号を一括に作成し、各々の役員で保管する。